

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和06年03月28日

計画の名称	清水町公共下水道整備事業重点計画														
計画の期間	平成30年度 ~ 令和04年度（5年間）											重点配分対象の該当	○		
交付対象	清水町														
計画の目標	清水町における公共下水道の普及を促進し、公共水域の保全を図る。														
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）		2,360	A	2,360	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30当初	R2末	R4末
1	下水道の人口普及率を65%（H30年度当初）から81%（R4年度末）まで増加する。 清水町の行政人口に対する下水道の処理人口の割合。 下水道人口普及率 = （下水道の処理人口(人)） / （清水町の行政人口(人)）	65%	73%	81%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	清水町	直接	清水町	管渠（ 污水）	新設	狩野川西部処理区管渠整備（未普及解消）	下水道管 φ200mm A=12.0ha	清水町	■	■	■	■	■	1,138		-	
	A07-002	下水道	一般	清水町	直接	清水町	管渠（ 污水）	新設	狩野川左岸処理区管渠整備（未普及解消）	下水道管 φ200mm A=14.0ha	清水町	■	■	■	■	■	1,217		-	
	A07-003	下水道	一般	清水町	直接	清水町	管渠（ 污水）	新設	狩野川西部処理区事業計画策定（変更）	事業計画策定	清水町					■	5		-	
											小計							2,360		
											合計							2,360		

事後評価			
○事後評価の実施体制、実施時期			
事後評価の実施体制		事後評価の実施時期	
清水町が事後評価を実施		令和6年3月	
		公表の方法	
		町ホームページにて公表	
○事業効果の発現状況			
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	計画前半に幹線を中心に整備を行ったことから、普及率が伸び悩んだため目標の指標に達しなかった。 下水道人口普及率 64.8%(H30) 70.4%(R2末) 76.4%(R4末) 下水道の処理人口 21,060人(H30) 22,530人(R2末) 24,270人(R4末) 清水町の行政人口 32,510人(H30) 31,989人(R2末) 31,748人(R4末)		
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）			
○特記事項（今後の方針等）			
狩野川西部処理区管渠整備(未普及解消)及び狩野川左岸処理区管渠整備(未普及解消)については、令和5年度から清水町公共下水道整備事業重点計画にて事業を実施しており、今後も事業を継続する。			

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道人口普及率を65%（H30年度当初）から81%（R4年度末）まで増加する。		
	最 終 目標値	81%	計画前半に幹線を中心に整備を行ったことにより、普及率が計画より伸び悩み目標に達しなかった。しかしながら、今後は面整備を進めることで普及率は伸びる予定である。
	最 終 実績値	76%	